

# 平成 31 年 1 月市長定例記者会見 記録

平成 31 年 1 月 28 日(月)

午前 10 時～午前 10 時 55 分

## 発表案件

### 1. 佐渡金銀山のユネスコへの推薦を求める署名活動について

早期のユネスコへの推薦と登録に向けた地元の熱意を政府にアピールするため、官民協働により、現在佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議が主体となりまして署名活動を実施しております。

この署名活動は、昨年 7 月の国の文化審議会におきまして国内推薦が見送られ大変残念な結果となりましたが、「次の推薦案件として有力な候補になり得る」との高い評価もあったことから、できるだけ早期の世界遺産登録につながればと思っております。なお、先日の 1 月 23 日の文化庁の報道発表にもございましたが、平成 31 年度の推薦候補に北海道・北東北の縄文遺跡群を選定する方針が確認され、佐渡金銀山はそれに次ぐ有力な候補になり得るとの認識が維持されました。佐渡市としては、新潟県と共に再来年度の国内推薦を目指し全力で取り組んでまいります。

署名につきましては、既に 1 月 8 日（火曜日）から新潟県の佐渡金銀山ホームページ及び佐渡市ホームページにおきましてインターネットによる電子署名も開始しております。また、署名用紙につきましては同ホームページ上からダウンロードいただくことも可能ですし、本庁、支所、行政サービスセンターの窓口にも設置しております。署名は氏名と市町村名のみをご記入いただき、郵送・FAX または本庁、支所、行政サービスセンターの窓口、または佐渡市役所世界遺産推進課へ提出いただければというふうに思っております。

集まった署名の第 1 回のとりまとめは今年 5 月 10 日（金曜日）としまして、県民会議総会のお諮りした上で、国に対して提出したいと考えております。なお、署名活動自体は、国へ提出後も継続して取り組む予定になっております。市民の皆様方におかれましては、この趣旨をご理解いただき積極的な署名活動にご協力を願いたいと思っております。

### 2. 子育て世代と市長との意見交換会の開催について

2020 年度を始めとする第 2 期子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査の一環として、小学生までのお子さんを子育て中の市民の皆様を対象に意見交換会を開催いたします。

日時は 3 月 2 日（土曜日）午後 1 時 45 分から午後 3 時 30 分まで、会場は両津支所 3 階の両津地区公民館の会議室で行います。定員は先着 40 名となりますので、参加を希望される方々は事前にお申込みが必要となります。対象となる世帯へは学校等を通じて申込書を送付しますので、お申込みいただければと思います。

また、同じ会場で 3 月 2 日午前 10 時から 11 時 30 分まで、「子連れアクティブ防災講座」と題しまして東日本大震災の体験から学ぶ防災対策講座も開催させていただきます。こちらは参加自由となっておりますので、事前のお申込みは必要はございません。

なお、いずれも生後6か月から就学前までのお子さんをお預かりする保育ルームを設置いたしますので、希望される方は事前にお申し込みをよろしくお願いいたします。問い合わせ先は子ども若者課（電話 63-3126）となっています。大勢の皆様の参加をお待ちしております。

### 3. 佐渡市の図書館を考える 市民懇談会の開催について

佐渡市の誕生から14年が経過しまして、社会状況の変化とともに図書館を取りまく環境も変わってまいりました。国の示す「図書館設置及び運営上の望ましい基準」でも、市町村立図書館が地域の実情に応じ、図書館の基本的な運営の方針を策定しまして公表するよう努めなくてはならないとされており、この指針に基づきまして平成29年度に実施した「図書館・図書室利用者アンケート」へのご意見、そして図書館協議会でのご意見をもとに佐渡市が目指すべき図書館像をお示しする「佐渡市立図書館ビジョン」の策定を現在進めているところでございます。

この素案段階の「佐渡市立図書館ビジョン」に市民の皆様のご意見を反映させることを目的にしまして、2月7日から14日にかけて、市内4地区で5回にわたり佐渡市の図書館を考える懇談会を開催いたします。多くの皆様からのご参加をいただきたいため、昼・夜の開催時間を設定させていただきました。どの会場にも参加可能ですので、ぜひご都合のつく会場にお越しいただき多くの皆様からのご意見をお寄せいただきたいと考えております。

### 4. 住宅用火災警報器の設置と維持管理について

1月2日に発生しました両津夷地区の火災では、死者3名、焼損建物13棟の大火となりましたが、過去にも木造家屋の密集した地域では同じような大火となっているケースが見られます。火災予防の第一は火災を出さないことですが、万一出火した場合に備えまして、住宅用火災警報器の設置が非常に有効です。住宅用火災警報器による設置効果は、設置していない場合と比べ死者の発生は3分の2となり、焼損面積、損害額とも概ね半減します。さらに消火器を設置してあると、火災を初期の段階で消火できる成功率も高くなりますので、住宅用火災警報器と消火器のダブル設置で住宅火災に備えていただきたいと思います。なお、ここで注意していただきたいのは、住宅用火災警報器を設置してある場合であっても、古くなると機器の劣化により作動しない恐れがありますので、設置から10年を目安に交換していただきたいと思います。住宅用火災警報器の設置は、私たち市民全ての義務となっております。自分や家族の命だけでなく、地域全体を守ることに繋がりますので、必ず設置をお願いいたします。

また、木造密集地域での火災予防、住宅用火災警報器の設置促進を図るため、同地域内での戸別の防火訪問を消防署員が行いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 5. 平成30年の観光客入込状況について

佐渡市における平成30年中の観光客数について推計値が出ましたのでお知らせさせていただきます。昨年1月から12月末までの観光客入込数は49万1,000人と推計しており、前年の平成29年48万8,000人に比較し、約3,000人と微増ではありますが、平成25年以来5年ぶりに増加いたしました。また、島内観光旅館組合の宿泊者数は、29万656人泊と前年の平成29年27万2,286人

泊と比較すると1万8,370人泊の増加となり、このことから一人当たりの島内滞在時間の延長が促進されているものと考えられます。

増加の主な原因は、国の「地方創生推進交付金」や「特定有人国境離島地域社会維持推進交付金」を活用した誘客策や滞在時間を延長できる魅力づくりの効果が現れ始めているというふうに分析しております。特にインバウンドと11月から3月までの冬季における伸びが著しく、インバウンドは、平成30年はまだ集計中ではございますが、前年比3倍となった平成29年より更に増加していると見込んでおります。また、冬季における宿泊者数は、前年同期と比較して1万人泊の増加となっております。

これらの観光による経済効果でございますが、平成30年中は276億3,690万円程度と試算しております。今後さらにこの流れを加速できるよう滞在交流型観光の促進を図るとともに、お客様のニーズに合った観光地域づくりを推進していきたいと考えております。

## 6. 2019 スポニチ佐渡ロングライド210の参加者募集について

島全体をコースとしましたサイクリングイベント「2019 スポニチ佐渡ロングライド210」を5月19日の日曜日に佐和田海水浴場前をスタート・ゴールとして開催いたします。毎年全国各地から大勢の選手に参加していただいておりますが、市民の皆様からもぜひご参加いただき、佐渡の大自然を肌で感じていただきたいと考えております。コースは昨年同様4つのコース分けとなっております。

今回は新たな企画としまして、大会前日に河原田小学校グラウンドの受付会場周辺にて「遊ぶ」・「体験」をテーマとしましたE X P Oを開催いたします。体験コーナーや佐渡グルメの出店等もございますので、参加者の皆様に佐渡を堪能していただければというふうに考えております。

また、もっとも距離の短いDコースでは、体験プランが新たにプラスされたコースとなりました。タンデム、いわゆる2人乗りの自転車の参加もできますので、ご家族などで気軽に参加していただきたいと考えております。

大会のコース上7箇所に設置しますエイドステーションでは、ご好評いただいている地元の食材を使用した補給食や佐渡産のスイーツ等の提供を昨年に引き続き予定しておりますので、佐渡の味覚も味わいながらゴールを目指していただきたいと思っております。

申し込みにつきましては、2月1日から受付を開始し3月29日までとしておりますが、定員に達した時点で締め切りますので、佐渡市スポーツ協会ホームページからお早めに手続きをお願いいたします。

佐渡市ではスポーツイベントを通じ、市民スポーツの普及・振興、そして健康の増進につなげることはもちろんのこと、スポーツアイランドとして佐渡の魅力を高め、交流人口の拡大を目指してまいります。市民の皆様には毎年多くの方からコースの誘導、エイドステーションの運営などにご協力いただき感謝しております。佐渡が一丸となって心温たまるおもてなしで大会を盛り上げていきたいと考えておりますので、今年も皆様の協力をよろしくお願いいたします。

## 事前質問

① 両津夷の大規模火災について、がれきの撤去状況はどうなっていますか。

また、進捗状況についての評価および、今後市としてどう対応し、復旧を支援していくか方針をお聞かせください。

がれきにつきましては、被災者の方々が業者に撤去を依頼し進めていると聞いております。遅くとも3月末までには撤去したいとの情報を得ております。がれきの撤去に関しましては、「佐渡市災害時における被災者への支援に関する要綱」により、金銭の支援をすることとなっております。今後の支援としましては、引き続き住宅の支援として希望者に対して市営住宅を提供いたします。また、事業の再開にあたっては、この火災に限った融資といったものはございませんが、既存の制度融資を検討させていただきたいというふうに考えております。

② 平成30年の市内の火災発生件数、原因、出火率とそれぞれの近年の傾向、対策の方向性について教えてください。

平成30年の火災件数は32件ございました。内訳は建物火災が19件、うち12件が住宅火災となっております。車両火災が5件、その他の火災8件で、前年と比較しますと建物火災は9件、車両火災は3件、その他の火災が4件それぞれ増加しております。火災による死者はいませんでした。負傷者は10人で、前年と比較し死者については5人の減少、負傷者については5人の増加となっております。

出火原因は枯草、ゴミ焼き、稲わら等の火入れによるものが7件、スプレー缶に起因するもの4件、排気筒によるもの3件、電気配線、タバコ、ストーブ、電池等によるものが合計8件、その他5件、不明・調査中が5件というふうになっております。

出火率は5.78で前年の3.36よりも2.42ポイント上昇した結果となっております。近年の傾向として、枯草、ゴミ焼き等の火が延焼拡大したその他火災、不燃ゴミ収集車での不適切なゴミ出しによる車両火災が多く発生しております。

住宅火災につきましては、消防職員や消防団の防火訪問を通して火の取扱いの注意喚起、住宅用火災警報器の設置促進、維持管理をさらに進めてまいります。また、枯草焼きやゴミ焼きによる火災が多数起きており、引き続き積極的な火災予防広報を実施するよう消防本部のほうに指示させていただいております。

③ 28日午後に「新潟県洋上風力発電情報連絡会議」が開かれますが、出席されますか。また、現時点で佐渡近海での洋上風力発電導入に推進か、消極的か、市としてのスタンスとその理由をお聞かせください。

28日に新潟県が開催する新潟県洋上風力発電情報連絡会議に佐渡市からも担当職員が出席する予定となっております。佐渡市としましては、情報連絡会議に参画し、新潟県の考えを踏まえながら将来へのプロジェクトへの参画の可能性も含め、しっかり調査研究を進めていきたいと考えてい

るところでございます。

- ④ 密集地での延焼予防について、今後のまちづくりの観点から対策は考えていらっしゃいますか。  
また、今回の被災地の復旧に当たり、再発防止に向けた方針を市として示すお考えはありますか。

ご存知のように両津夷地区につきましては、古くから商店、住宅が密集しており、残念ながら今回の延焼による大火に至りました。被災エリア以外にも市内には同様の住宅密集地が多くありますので、まずは市民一人一人が密集地における火災に対する危機意識の向上を図ることが重要と考えております。また、再発防止に向けた指針につきましては、被災エリアにおいて住宅を新築する場合、建築基準法の規制により建ぺい率、容積率が定められておりますので、火災前のような密集した建築とはならないものと考えております。また、火災予防の観点からは建築基準法第 22 条区域に指定されており、木造の屋根・外壁は不燃材を使用することとなっております。

## 質疑応答

### 1. 佐渡金銀山のユネスコへの推薦を求める署名活動について

記者：

1月23日の文化庁の報道発表についてなんですけれども、昨年北海道・北東北の縄文遺跡群が国内推薦候補に選ばれましたけれども、来年度の国内推薦候補としても有力だという話をもともとあったのですが、推薦自治体の募集自体を平成31年度はしないという決定を文化審議会がしたと思うんですが、かなり異例のことと思うんですが、市長としてどのように受けとめておられますでしょうか。

市長：

異例のこととは考えていません。昨年の時点で2019年からは国からユネスコに申請できる案件は自然遺産、文化遺産合わせて1件というふうになりました。今まではそれぞれ1件というものが合わせて1件に絞られるという状況がもうわかっておりました。その中で国の方は平成30年度の候補としましては自然遺産の方を選ばれたわけでございますから、それで北海道・北東北の縄文遺跡群は文化遺産としての申請が1年伸ばしという結果に今回なったわけです。その意味では今年度の日本の推薦が文化遺産のほうであれば審議があったと思いますが、文化遺産のほうは1年繰り延べになったという時点で、この形になるのではないかという想定はしておりました。

### 2. 子育て世代と市長との意見交換会の開催について

記者：

このような子育て世代に特化した意見交換会は初めての開催でしょうか。

市長：

平成29年にも、金井保育園のホールで子育て世代の皆さんとの意見交換会はやっております。

記者：

2回目ということですか。

市長：

そうですね。30年はちょっとできなかったんですけど、今年度中ですから年度としては続けているということです。

### 3. 佐渡市の図書館を考える 市民懇談会の開催について

記者：

図書館ビジョンというものはこれまでまだないもので、今度新たに策定するものですか。

市長：

図書館ビジョンはこれまでもありました。その再策定という形になると思います。

社会教育課長：

図書館ビジョンにつきましては、大きな方向性として以前から佐渡市合併してから施設とかそういうものを取りまとめたものはございました。ただ、施設の方向が31年までということになっておりますので、それに合わせて佐渡で本格的にどのような図書館像が望ましいのかというものを新たに策定をするということで検討を今進めているところの中で、市民からご意見をいただきたいということで説明会を開催するものでございます。

### 4. 住宅用火災警報器の設置と維持管理について

記者：

がれき撤去の進捗状況について、例えば焼けた面積のうちどこまで終わっているかというような具体的な数字を教えてくださいませんか。

市長：

日々日々現在進行形なんでちょっとそこまでの具体的な数字は持ち合わせておりません。たまたま昨日も撤去している現場を通りかかりましたが、ざっくり外目に見て半分近くがかなり撤去されつつあるというふうに昨日は見ました。

記者：

密集地の延焼予防についての事前質問のお答えで、建築基準法などの基準に従ってもらえれば前みたいにはならないみたいな話でしたけれども、他の似たような地域も含めて、行政として空き家の撤去を進めるですとか行政として積極的な関与までは考えていない、あくまでも民間でやるということなのではないでしょうか。

市長：

実際に両津夷地区以外にも、あのような特に商店街中心に密集地が佐渡には点在しております。ただし、全て民間の方々の所有物件でございます。空き家についても所有者がしっかりいらっしゃるわけでございますので、その辺のところを含めて常に状況確認はさせていただきますが、市が強制的に云々ということとはちょっと難しい部分もございますので、当然今回復旧する現地とかは当然新しい建築基準法の中でということをやってもらうこととなりますけれども、旧来のままの状況を市としてこうすればこうできるという部分の権限的な部分も難しいところもありますので、とにかく火を出さないことの意識促進にこちらは努めるしかないかと思っております。

記者：

例えば住民向けの初期消火の講習ですとか住宅用火災警報器にしても助成をしてみたりだとかいろいろ方法はあると思うのですけれども、そういうことに対して対策を強化するような・・・。

市長：

とにかく意識の促進については、常に例えば昨年末の年末年始前も様々な広報もさせていただいたり、そのところはしておりますし、今回正月のあの大火事があった後、何件も続いてしまうというところは非常に残念ではございますけども、その注意喚起は可能な全てのツールを使ってやっているわけでございます。さらに住宅用火災警報機の設置等についても、以前一部補助制度もやったこともございます。ただ、基本的に実費も必要なわけでございますし、本来であれば全ての、要するに1軒に1箇所だけ付けておけばいいというものでもございませんから、ここについては市としてはもう失火しない、出火しないための意識の啓発を徹底して続けて広報をしていくしかないと思います。あとは先ほども答えさせていただいたように、それぞれのお宅の皆様がどうやって自らの財産を守るかというところを頑張っていたいただきたい。まずはそこしか方法はないのかなというふうに思っています。

記者：

両津夷の火災について、消防の対応に特に問題はなかったと市長は思われているということでしょうか。

市長：

基本的な部分において対応に大きな問題はなかったというふうに考えております。出火場所がかなり困難な地域でございますので、一部現場周辺にいた方々から色々な声が上がっていたのも聞いておりますが、それぞれの消防署あるいは地元の消防団の中では可能な限り精一杯の部分は頑張ってくれたのかなというふうに認識しておりますし、今後も含めて市内44箇所くらいですか、ああいいう密集地域を指定して、さらに出動態勢についても常に新たな考え方、分析の元に例えばさらに改善方法があればというようなことも続けております。その中で私の方が報告でいただいている各消防車の現地着時間とか、そこからの放水開始時間等について、大きな問題があったというふうには考えておりません。

記者：

さきほど空き家の状況を確認しながらとおっしゃったんですけれども、状況確認をしてどうされるのですか。

市長：

佐渡島内の空き家の件数及び状況等については、既に昨年までに環境対策課のほうで全部調査は終わっております。その中で危険空き家とかの分類分けも終わっております。ただ実際に空き家があったとしてもその空き家をどのような対処をするか、そのまましておくのか壊すのかというのはあくまでも所有者の皆様の判断になりますので、こちらとして強制的にできるという部分ではない状況があるのは理解していただきたいと思います。

記者：

状況を確認して消防活動に活かすとかそういうことはお考えですか。

市長：

それは先ほども言いました密集地域として選定した 44 地域等について、どの程度の空き家が分布していてどうこうというものは、消防署のほうで全部現状を把握しながら対応しようということを考えております。

消防長：

空き家の部分の確認につきましては、今市長がおっしゃったとおり市内 44 ブロックを重点的な木造密集地域として選定して消防活動に活かしていきたいと思っております。各消防署につきましては、本日から各地域のほうに回ってそのエリアを実際に目で見て確認をしてもらう。その中で防火指導、防火訪問、住宅用火災警報器の設置等を確認し、その他に警防活動的に、ここに通路があるとかここに空き地があるとか空き家があるとかという部分の確認をしながら、この後の活動計画、火災予防計画に活かしていきたいと思っております。また、空き家の情報につきましては、関係課と連絡を密に取りながら把握を進めて活かしていきたいと思っております。

記者：

市長の中で、これからの防火対策においては住宅用火災警報器の設置の促進で十分というふうなお考えでよろしいですか。

市長：

そんなふうには全然思っておりません。どういう装置を付けようが何をしようがとにかくそれぞれの市民の皆様の方が、失火、出火をさせないための日々の注意点検あるいは意識の確認等々が一番大事だと思っております。ツールの問題じゃなくて、これは意識の醸成をとにかく根気強く市民の皆様に訴えるしかないと思っております。

記者：

さきほどの住宅密集地の中に相川地区の京町通りのようないわゆる世界遺産の構成資産となっていて、なかなか現状変更ができていくような状況があって、なおかつ密集している様子が歴史的な景観をなしているところもあると思うのですけれども、そういったあたりの対応をどのようになさるかお考えをお聞かせいただけますでしょうか。

市長：

商店街の密集地と全く違うんで、京町通りみたいなところは通りと通りの間に一軒入ってるだけで横はくっついていますが、通りと通りが遠く離れてるわけではないんで、いわゆる先ほど消防長が言いました 44 ブロックに分けた密集地とはまた別の考え方をしています。

## 5. 平成 30 年の観光客入込状況について

記者：

11 月から 3 月までの冬季における伸びが著しいということではありますが、それは背景にどんな要因があるとお考えですか。



市長：

細かい部分は課長から説明しますが、一つは数年前から始めた冬紀行とかいう旅行商品がかなり認知されてきた部分等があると思います。

観光振興課長：

11月から3月までの冬期における伸びということなんですが、我々今まで通年観光ということになるべくオフシーズン、冬期にもお客さんが入ってくれるような仕組みづくりというものを推進してきておりました。先ほど市長が申し上げたとおり冬紀行を始めとしてお得なパッケージ旅行に合わせて新たにインバウンドの方々に冬の観光の魅力というものをお伝えしてきました。1万人泊の増加というようなところなんですが、インバウンドの方々がかなり多い割合を占めております。内容は台湾の方が多いかないと考えております。

記者：

具体的に冬はこういったものを目的に来ているというようなことが、例えばカニを食べたいとか、そういったものはどうですか。

観光振興課長：

商品の内容なんですが、主に訴求しているのがやっぱり冬の魅力のグルメの部分でございます。とれる旬のものが若干月によって変わってきますので、12月は寒ブリ1月はカニですとか、そういうふうにして品物をちょっとづつ変えて訴求をはかっております。

記者：

インバウンドが昨年比3倍となったところの平成29年の人数と、経済効果の昨年の数と金額を教えてください。

観光振興課長：

まずインバウンドなんですが、28年と29年の比較になります。28年が泊数でカウントしているんですが5,906人泊。平成29年は1万8,000人泊ということになります。平成30年につきましてはまだ集計中ということなんですが、2万人泊を見込んでいるというようなところでございます。次に経済効果の部分でございます。経済効果は簡単に言うとシミュレーションになるんですが、島内での消費額が今最新の数字で一人当たり5万6,000円程度というふうに見込んでおります。それに人数49万1,000人をかけますと276億円というような感じの数字が出てきております。この5万6,000円の島内の消費額の部分なんですが、最新数値が28年度のものを使っております。従いまして単純に数字をかけると28年度につきましては48万8,000人×5万6,000円という数字が出てきておまして、ちょっと今数字は計算してないんで、270億円程度になるんでしょうか。

記者：

佐渡の観光主要施設を2週間前に回って聞いたんですが、たしかに台湾というのがありましたが、それ以外以外は昨年より悪いと主要施設は言っているんです。皆さんは増えていると言っている。ちょっと矛盾がありますが、どこらあたりをあなた方はしっかりと把握していますか。

観光振興課長：

お客さんの動向、佐渡への来られ方というところが若干変化しているのかなと思います。それに従いまして立ち寄られる場所というところも、今までの主要観光施設というところからかなり変わったところに分散しているというふうに考えています。立ち寄り施設の中でも従来からのまず団体型観光の受入れを主に行っていたところは伸び悩んでいるところが多いのかなというふうに考えているんですが、逆に個人対応をはかっているところについては伸びている例がありますので、そういうふうにして分散してお客さんは回られているのかなというふうに思っています。

記者：

あなた方は集計データをしっかり押さえて、そうしないと工事で来ている人たちを観光する人の中に入れたり、さらに人数が少なくなっていくものを二倍三倍とかに計算する傾向がある。商店街に聞きましたか。例えばクリーニング屋とか。観光客が増えていけばクリーニング屋の営業は伸びるんですが、伸びていないんです。あなた方の推計で述べるのではなくて、しっかりしたデータを把握してから伸びていると言った方がいいと思います。なかなか島内の観光業者はそんな楽観視なんかしていない。むしろ昨年より悪いと言っています。そのあたりは冬のことだけを考えるのではなくて通年で考えてみてください。

観光振興課長：

平成30年にDMOという新しい組織を立ち上げました。今まで観光事業者のみでカウントしてデータ取りをしていたんですが、今度からより多い関係者の中でデータの共有をはかっていくというところからデータの取り方というところも工夫していきたいと考えております。

## 6. 2019 スポニチ佐渡ロングライド210の参加者募集について

なし

## 事前質問に関する質疑

【両津夷地区の火災について】

記者：

両津にホースボックスが少ないということが議会でも言われていると思うんですけど、ホースボックスを追加して作られるご予定とかお考えはないんですか。

市長：

誤解しないでいただきたいんですが、ホースボックスはスペース的に置けません、ホースを引込むいわゆる消火栓の数はしっかり揃っております。

消防長：

消火栓ボックスのお話だったと思いますが、消火栓につきましては今市長がおっしゃったとおり市街地についてはそれぞれ各ブロックにございますので規定の消火栓が配置されておるかと思いません。今回の火災につきましても、近辺の消火栓8箇所を使っての放水活動しておりますので、十分な水量が確保できていたかと思えます。

消火栓ボックスにつきましては、夷、湊地区、本町通り、裏通り等、皆さん見て回ると分かるかと思うんですが、ほとんどが地下式の消火栓になっております。これについては交通の支障とか歩

行者の支障が出るということで地下式にさせていただいているところなんです、今回の火災を見まして多くの方から消火栓ボックスが必要ではないか、初期消火に有効ではないかというお話を聞きながら、国道県道あとは歩道という部分でございますので、関係機関あとは商工会等々とお話を進めて設置可能な場所については極力設置をしていきたいと思っております。また、十字路のほうから本線を金井方向に行きますと地上式消火栓がございます。これについても設置可能な場所等々があれば、家の人に確認をして設置可能なところは設置を進めていきたいなということで今現在考えております。

【洋上風力発電について】

記者：

先ほどのご答弁では基本的に前向きなのかなという印象を受けたのですが、昨年の夏頃に相川地区で風力発電の構想が上がったときにトキの衝突の懸念から反対の声が上がって撤退したのですが、洋上風力発電についてはそういった懸念はないというお考えですか。

市長：

トキは海鳥ではないですので、そこは心配はないと考えてます。